

赤江地区民 みんなの合言葉

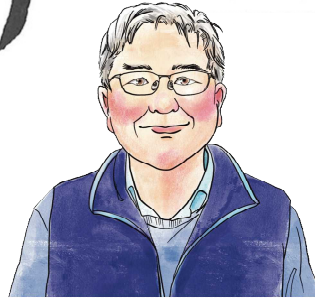
- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

赤江 公民館だより

No.145 令和5年 5月号

館長のよもやま話



4月の公民館だよりは随分私的なことを書いたなあ、主事にレイアウトしてもらい、出来上がったものを読み返して思いました。と言いながら、自分の書いた文書を読み返すことはまずはなく、主事の苦勞を感じているところです。また、つまらないことを書いてしまいました。

私は、この原稿を書くとき、まず手帳を振り返りながら、微かな記憶を頼りに書いています。

まずは、4月23日(日)、『合同総会』を行いました。今年度の赤江地区自治会連絡協議会長には才下自治会(川西上)から成瀬和博さんをお願いすることとなりました。また、副会長には、別石自治会(川東下)の中村直樹さんと出来須自治会(川西下)の秋本直樹さん、会計に竹鼻自治会(川東上)の安部直佳さん、そして、監事には越前自治会(川西下)の永田哲也さんとさーたうん自治会の周藤敏雄さんという体制でこの一年様々な行事を行いたいと思います。また、教育後援会長には引き続き遠藤孝さんをお願いすることとなりました。皆さんには、全く無報酬のボランティアとしてお願いしています。昨年度の皆さんにも、本当に交流センターの運営に協力いただきましたが、今年も私としてはお願いするだけです。感謝の限りです。

また、この総会で色々ご意見をいただきました。ありがたい限りです。

赤江教育後援会から一戸あたり2,300円を徴収していただいておりますが、その中から交流センターにも65万円を配分していただき、様々な事業の運営に使わせていただいております。これからも、皆さんからいただい

る貴重なお金を有効な事業に使わせていただきたいと思います。

さて、今年の総会には安来警察署の赤江担当の方から、お話をしていただく時間をもちました。ひとつは、自転車の努力義務となったヘルメットの着用の話と、もう一つが横断歩道での話しでした。この話しは別の会議でも話題になった話しですが、少しお話しすると、多分、旧国道など1車線の話だと思いましたが、ある人が、信号機のない横断歩道で渡ろうとしている子どもがいると判断し、横断歩道前で停車していると、後続の車が追い越して行って、歩行者とぶつかりそうになったという話しです。その時は、たまたま事故とはならなかったようですが、別の所では、不幸にも事故となり、即逮捕事案となったようです。他人事ではありません。私もやりかねないことだと思いました。お互いに気を付けたいものです。

4月29日(土)祝日、毎年恒例となっている『エビネ展』が行われました。昨年度も思いましたが、この日に合わせて、咲かせるとは本当に日々の管理の成果だと改めて思いました。残念ながら現在3名の方が中心で活動されています。是非、関心があれば一緒に育ててもらえればと思っています。



「エビネ展」の様子

当日、合わせて『ファミリーコンサート』と称してフルートコンサートを開催しました。この企画は、地元の岩田さんにご苦勞いただき、実現しました。残念ながら私は、楽器については、全く門外漢で楽器ができるというだけで、尊敬の限りです。このコンサートでフルートという楽器の良さを感じました。私は知りませんでしたが、ピッコロやアルトフル



「ファミリーコンサート」の様子

ート、バスフルートと様々な種類のあることを恥ずかしながら初めて知りました。当日は、童謡やアニメ主題歌などや、楽器の説明もいただき、久しぶりに心地よい一時を過ごすことができました。また、この団体をまとめておられる方が、昔の勤務で知り合いの方で、久しぶりの再会でした。私などと違って、文化的なことをされて

いると、改めて感じたいです。

5月になりました。5日、赤江町にとって伝統となる『御田植祭り』が、4年ぶりに行われました。私も見に行かせてもらいました。というのもコロナ禍により地元の出来須から中止され、まる3年間、行われずにきた行事でした。今年は、別石自治会が当番で行われまし



「お田植祭」の様子

た。様々な苦勞があったことと思います。残念ながら聴衆者は少ないという印象でしたが、別石の皆さんには継続しなければという強い意志を感じさせてもらいました。

12日(金)には、『赤江地区健康会議総会』を開催しました。この会議には、各自治会の健康委員の皆さんにご出席いただき開催しています。この赤江地区は昔から農業を中心に営まれていた地域であり、働きすぎで、健康への意識は薄いということから、この赤江地区では早いころから開設された会議だと理解しています。総会の後、明治安田生命から『人生100年時代 暮らしに役立つ「睡眠」と「健康」の知恵袋』と題して講演していただきました。皆さんもご存じのように「寝る子は育つ」というように若い人にとっての睡眠の大切さを聞き、また、個々の人の体内時計の違いと生かし方など、具体的な話を聞きました。年を取ると、睡眠時間は短くてもよいという話でした。私は、毎日、だいたい9時過ぎに寝ていることを考えると寝すぎなのかとも思いました。健康のために昼寝は有効ですが、ソファなどによりかかる程度で30分以内がベストとのこと。また、昼寝の直前にカフェインの摂取が有効とのこと。なお、関心のある方は、各自治会の健康委員さんが資料をお持ちです。

さて、28日(日)には、交流センターが主体的に取り組む事業となる『安田要害山と母塚山』のハイキングを企画しています。最初に訪れる安田の『長台寺』もなかなか趣のあるお寺です。多くの皆さんの参加を期待しています。天気だけが心配です。

追伸として、我が家の仏さんやお墓の花ぐらいは自給しようと思い、何年か前から花の栽培を始めました。交流センターの前にたまたま、余っていたスイートピーの苗をプランターに植えました。今年、種苗店で購入した

店で購入したスイートピーの発芽が悪く、試しに、昨年採った種を蒔いたところ、沢山の苗ができました。私は、困ったことに苗を捨てることができず、いつも余分な花ができてしまい、交流センター前に置くと、心ある方に持ち帰ってもらえることがわかりました。これも感謝の限りです。

少し話しがそれますが、今年の3月ごろでしょうか、ぶり山のツバキがとてもきれいだったとの話を聞きました。そういえば、小学校の校門のツバキも沢山の赤い花をつけていました。なぜか、我が家のサクランボも例年になく豊作でしたが、その後の雨でかなりの実が破裂しましたが。

17日(水)に交流センターで様々な活動されている方の教室連絡会を行いました。皆さんも興味がある教室があれば、是非メンバーに加わっていただければと思います。その後、消火訓練も行いました。日ごろ、消火器の中にどんなものがあるのか分からない人も多いのかと考(3)使用期限の過ぎた物を使ってみました。薄いピンク色の粉で、当日、風があったため、駐車場の車を汚すことなく使うことができました。

今月も、つまらぬことを書きました。お許し下さい。多分、6月になると、様々な行事も始まります。もっと具体的なお話もできることと思います。

つたない文書をお読みいただいた皆さんには感謝の限りです。

お知らせ

6月の行事

- 3日(土) 親子でチャレンジ! ささまき作り
- 5日(月) めだかクラブ 開校式、田植え
- 17日(土) めだかクラブ 玉ねぎ収穫体験
- 25日(土) 赤江地区自治会親善ソフトボール大会

交流センターの教室について

現在、交流センターでは20の教室・サークルが活動しています。詳しい内容については、5月の回覧「2023 教室案内」をご覧ください。

仲間と一緒に新に教室・サークルを作ることもできます。お気軽に交流センターへご相談ください。

ボランティア 募集中

交流センターでは、学校支援や交流センターでの活動をサポートして下さるボランティアの方を募集しています。ボランティア登録をされて方に随時、活動の案内をします。

あいた時間に! 友達づくりに! 友達と一緒に! 無理なく楽しく活動してみませんか。

詳しくは、赤江交流センターまでお問合せください。



赤江交流センター

TEL/FAX 28-8982